

「一人を大切にしている高倉さんに期待」

講演会で作家の佐藤優氏

公明党中野総支部の時局講演会が4月15日に中野区内で開催され、高倉良生が都政改革への決意を訴えました。これには、山口那津男代表、作家の佐藤優氏が応援に駆け付け、高倉に期待を寄せました。佐藤氏の講演要旨は次の通り。



▲高倉良生と佐藤優氏

■高倉の政治姿勢について

一、区議時代を含め、2万件を超える住民相談を受け、政策に生かしている。すごいことだ。

*

一、政治の原点は、阪神・淡路大震災で公明新聞記者として現場取材し、ボランティアとして活動したことだという。その現れとして、防災士の資格を取り、「防災のプロ」として助言していることが、大変な努力家であることを物語っている。

*

一、障がい者の方々による芸術、日本語字幕付きのバリアフリー映画、産後ケア、ペットの殺処分ゼロ対策などについて、高倉さんは黙々と取り組んできた人。だから信頼できるし、一生懸命やるところに魅力がある。一人を大切にす



【さとう・まさる】
1960年、東京生まれ。元外交官。現在、作家・評論家として、雑誌等で多くの連載をもつ。著書に『自壊する帝国』『国家の民』『獄中記』など多数。

「人間主義」を体現した高倉さんを、私は心の底から応援している。

■都議会公明党と「都民ファーストの会」この政策合意、相互推薦について

一、新聞を読んでいると、「公明党が小池百合子都知事にすり寄った」と勘違いしがちだが、これは違う。実は逆で、小池都知事が公明党の実現力を頼りにしているのだ。また、公明党を「都政の頭脳」とも言っている。小池都知事の方から公明党に歩み寄り、「力を貸してほしい」と言ってきたのだ。

ぜひ登録ください!

LINE@
※ID検索は…
@kkn6370w

Facebook
※ネット検索は…
高倉良生 検索

Twitter



高倉良生 プロフィール

1957年2月8日、茨城県生まれ。茨城県立水戸第一高校、創価大学経済学部卒。公明新聞記者を経て、99年に中野区議会議員に当選(2期6年)。2005年に東京都議会議員に当選し、都議会総務委員長などを歴任。都私学助成審議会委員、動物愛護管理審議会委員。防災士。趣味は登山(日本山岳会会員)、写真撮影